

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

(仮称)ダイレックス宇品店 新築工事

配慮項目		評価点		重み係数		内訳							
■1.「地球温暖化対策」の推進													
1.1 建物の熱負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし		3.0	0.13	Q1 室内環境	2 溫熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能						
		2.0	0.87	LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制								
小計		2.1	0.12										
1.2 自然エネルギーの利用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし		3.0	1.00	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー-利用								
小計		3.0	0.05										
1.3 設備システムの高効率化													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 LED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮している		4.4	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化								
小計		4.4	0.27										
1.4 設備システムの効率的運用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし		3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング						
		3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.2 運用管理体制						
		0.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.1 モニタリング						
		0.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.2 運用管理体制						
小計		3.0	0.11										
1.5 資源・マテリアル対策													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水コマなどに加えて、省水型器具などを用いている		4.0	0.10	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水							
		3.0	0.11	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無						
		3.0	0.05	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	2 雜排水等利用システム導入の有無						
		3.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減							
		3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用							
		3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 建築材料におけるリサイクル材の使用							
		3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 建築材料以外におけるリサイクル材の使用							
		2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材							
		4.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み							
小計		3.2	0.32										
1.6 ライフサイクルCO2排出率													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 消費エネルギー量削減により運用時のLCCO2排出量低減に配慮している		4.0	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮								
小計		4.0	0.13										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価													
		3.5	0.72										
■2.「ヒートアイランド対策」の推進													
2.1 溫熱環境の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし		1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出								
		2.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上							
		3.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善							
小計		1.8	0.97										
2.2 交通負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐輪場・駐車場、複数搬入口、荷捌きスペースを整備している		5.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制						
小計		5.0	0.03										
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価													
		1.9	0.18										
■3.「長寿命化対策」の推進													
3.1 耐用性の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし		3.0	0.50	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	1 耐震性(建物のこわねにくさ)						
		3.0	0.13	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	2 免震・制震・制振性能						
		3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 駆体材料の耐用年数						
		5.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						
		3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						
		3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔						
		5.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔						
		3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔						
小計		3.3	0.67										
3.2 設備の更新性													
(コメント) ※設計の計画上段特に配慮した事項を記載してください。 ケーブルラックを利用する事で、構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕が出来る		3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性						
		3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性						
		5.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性						
		3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性						
		3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性						
		3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保						
小計		3.2	0.33										
3.「長寿命化対策」の推進の評価													
		3.3	0.10										
■重点項目の総平均(上記3項目)													
		3.2											